

本学救命救急センター並びに関連施設におけるくも膜下出血の実態調査

2022年から2027年までに脳卒中のために入院治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「本学救命救急センター並びに関連施設におけるくも膜下出血の実態調査」という研究を行います。この研究は、実施許可日より2027年9月30日までに日本医科大学付属病院高度救命救急センターにて、くも膜下出血のために入院治療を受けた患者さんの実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この揭示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：本学救命救急センター並びに関連施設におけるくも膜下出血の実態調査

研究期間：研究実施許可日～2028年12月31日

(研究対象となる患者さんは実施許可日より2027年9月30日までに入院された方です)

研究責任者：日本医科大学付属病院 救命救急科 中江竜太

(2) 研究の意義、目的について

日本医科大学付属病院高度救命救急センターでは、多数のくも膜下出血の患者さんを受け入れ、積極的に治療を行なっています。本研究では救命救急センターで入院加療を受けられたくも膜下出血患者さんの実態を調査し、治療成績や特徴を明らかにします。特に救命救急センターで多く治療している重症な、くも膜下出血患者さんの治療に貢献することが研究の最大の目的です。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

実施許可日より2027年9月30日までに日本医科大学付属病院高度救命救急センターにて、くも膜下出血により入院加療を受けた患者さんの背景、発症様式、診断、治療内容、退院後の状態についての検討を行います。この研究は患者さんの入院カルテから検査データ、画像データを用いて行われます。また長期的な状態を把握するため、外来での問診や、電話での回答をお願いする場合があります。

試料：なし

情報：年齢、性別、以前の病歴、来院時の状態（意識レベル、血圧、瞳孔所見等）、一般採血データ（血算、凝固系、肝腎機能、電解質等）、診断、画像所見（CT、MRI）、治療の内容、退院後の転帰（生活レベル、後遺症の有無等）

これら情報は、ネットワークに接続されていない各施設のパソコンに保管し、ロック機能をつけ、研究者以外の閲覧ができないようにします。研究期間終了後は速やかにデータを消去します。また、患者さんが同意を撤回された場合には、その患者さんのデータは本研究には使用致しません。

(4) 共同研究機関

研究代表機関：日本医科大学多摩永山病院

研究全体の責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急科 病院講師 金子純也

その他の共同研究機関：日本医科大学付属病院高度 高度救命救急科（責任者：中江竜太）、日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科（責任者：渡邊顕弘）、川口市立医療センター 救命救急センター（責任者：鈴木剛）

資料・情報の管理について責任を有する者：日本医科大学多摩永山病院 佐藤慎

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用致しません。また、研究発表時にも個人情報は使用致しません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省 告示第1号）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。研究の結果をお知りになりたい場合には、下記までご連絡ください。

(7) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 救命救急科 講師 中江竜太

〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131 (代表)

メールアドレス：nms_fuzokurinri@nms.ac.jp